

ICT活用レポート！

第（ 6 ）学年 （ 理 ）科 単元名「成長と水の関わり」での実践		
項目	内容	
ICT 活用の場面	<ul style="list-style-type: none"> ・ホウセンカが根から染色液を吸い上げ、茎や葉、花などが染まっていく経過の観察 ・根・茎・葉等の染まっている様子の観察 	
使用した ICT 機器	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用タブレット、テレビ ・接写レンズ 	
具体的な方法	<ol style="list-style-type: none"> ①ホウセンカを染色液の入ったビーカーに入れる。（ビーカーに染色液の位置の印を付ける。） ②10分ごとに写真を撮る。 ③撮った写真を連続で見て、水が根から吸い上げられて茎や葉等に運ばれる様子を見る。 ④カッターで切った断面の写真を撮り、テレビに拡大して提示し、水の通り道を全体の場で確認する。 	
成果と課題	○成果	△課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用タブレットは、ぶれることなく細部を撮影できるし、とってすぐにテレビに提示できるので、デジカメより便利。 ・接写レンズをタブレットにつけると、さらに細部の観察ができるのでよい。理科では接写レンズの使用が観察する際とても有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設定時間ごとに自動で写真撮影ができればより便利になる。 ・児童用タブレットのカメラ機能は細部まではうまく撮れない。
感想や改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に撮影させる方がいいか、教師が撮影したものを見せる方がいいか、またはその両方か、他にも方法はないかなど、学習のねらいに迫るためにはどのようにカメラ機能を活用すべきかをしっかりと吟味して、活用場面を設定していきたい。 	